

1 「貯蓄」と「投資」 —どう考える？



「貯蓄」と「投資」の違いとは

「貯蓄から投資へ」という言葉を最近よく耳にしますが、そもそも貯蓄と投資には異なった役割があることに留意が必要です。「貯蓄」は、いざというときや必要な出費に備えて“お金を蓄えておく”ものなのに対し、「投資」は中長期的に“お金を増やす”という役割があります。こうした役割を踏まえ、貯蓄は銀行等の預貯金など安全性の高い金融商品で行い、中長期的にお金を増やすのが目的の投資は、利益を見込んで株式や投資信託、債券などで運用することになります。

一方、タイミングを見計らい短期的な売買を繰り返すことを「投機」といいます。大きな利益を得られることがある半面、短期間で大きな損失が発生することもあり、資産形成には向きません。

資金の目的を考えて、運用方針を決めよう

いつ、どのような目的で必要になるお金なのか、その用途や期間によって、お金を貯蓄するのか、投資に回すのかが決まってきます。自分の資産を把握し、金融資産一覧表を作成して、資金の目的を考えるようにするとよいでしょう(表)。

資金の目的には、日常生活の引き落としなどに利用する**決済用資金**、目的が決まっている**目的確定資金**があります。目的確定資金には、病気や失業に備えて毎月の生活費の1年分程度を用意しておく「万一の

表 金融資産一覧表(例)

金融機関	商品	満期日 (償還日)	残高 (評価額)	備考	目的	運用方針
〇〇銀行	普通預金		30万円		①決済用資金	貯蓄
〇〇銀行	定期預金 (1カ月)		300万円		②目的確定資金 (万一のための費用)	貯蓄
◎△銀行	定期預金 (1年)	2026年 8月	200万円		②目的確定資金(家族旅行) ③余裕資金	②貯蓄 ③投資
△△銀行	積立定期		121万円	毎月3万円 積み立て	②目的確定資金(教育資金)	貯蓄
◎◎証券	株式投信	無期限	51万円	購入額 50万円	③余裕資金(老後資金)	投資

ための費用」、教育費や旅行など、近い将来必要になる「ライフイベント費用」などがあります。これらの資金の運用方針は、貯蓄が適しているといえるでしょう。目的確定資金で投資をしてしまうと、ちょうどお金が必要になったときに資産の価値が下がっていた場合、十分なお金を用意できないということになりかねないからです。

一方、生活に影響を与えないお金で、当面使う予定のないお金は**余裕資金**と考え、運用方針は投資としてもよいでしょう。

運用方針に合った金融商品を選ぶ

運用方針が決まったら、具体的に金融商品を選びます。

貯蓄は、手数料やポイントの優遇、利用しやすい場所にATMがあるか、などを考慮し、適切な預け先から選ぶようにします。投資は、自分のリスク許容度や目標に応じてリスクとリターンバランスを調整しながら、国内外の株式、債券などをどのように組み合わせ、どのような割合で持つかを決め(アセットアロケーション*)、具体的な金融商品の組み合わせとその配分(ポートフォリオ)を考えていきます。

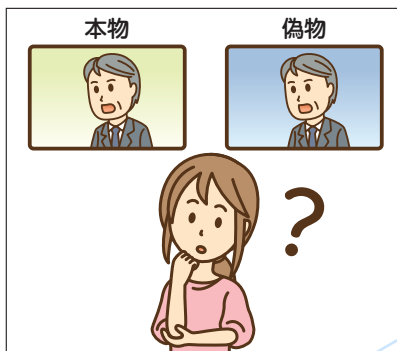
* 国内外の株式や債券などの資産(アセットクラス)に、運用資金をどのような割合で投資するか決めること。収益性や異なる値動きをする金融資産に分散して投資することで、リスクの低減を図ったり、収益を安定させたりすることをめざす

2

ディープフェイクとは？
—注意したいポイント

ディープフェイクとは

近年、ディープフェイク^{*1}と呼ばれる精巧な偽の画像や動画が、AI（人工知能）技術によって容易に作成できるようになっています。これは、AIが**実在の映像や音声**を学習し、**本物そっくりの偽の動画や音声等を作り出す技術**です。これにより、実在する人物が実際には言っていないことを本当に話しているかのような動画の作成や起きていない出来事を映像化することが可能になりました。



専門知識がなくても簡単に作れるため、SNSでは本物と見分けがつかないほど精巧なディープフェイクが急速に拡散されています。

ディープフェイクの悪用と社会への影響

ディープフェイク技術は映画制作や教育などに活用される一方、犯罪利用や情報操作などの悪用も増えています。

- **詐欺やなりすまし** ディープフェイクを使った詐欺事件が発生しています。例えば、企業経営者の顔や声をAIで再現し、ビデオ会議で部下に偽の指示を出して送金させる手口で、海外企業が数十億円の

^{*1} ディープラーニング（深層学習）とフェイク（偽物）を組み合わせた造語

被害を受けた事例があります。また、個人をねらうロマンス詐欺にもディープフェイクが悪用され、**偽の顔の画像や動画で恋愛感情を利用し、金銭をだまし取る**事件が増えています。

- **偽情報の拡散と情報操作** 災害や政治的な出来事の際に、偽情報が拡散されることがあります。例えば、2022年の豪雨災害時に^{*2}、SNSで「ドローンで撮影された静岡県の水害」として拡散された画像が、実はAIで生成された偽画像でした。また、政治家の偽動画が作成される事例も国内外で問題となっています。
- **プライバシー侵害と名誉毀損** 著名人や一般人の顔を合成した偽画像・偽動画がネット上で拡散されるケースが増えています。こうしたコンテンツは、被害者の評判を損ない、**深刻なプライバシー侵害や名誉毀損**につながります。

向き合い方とファクトチェック

ディープフェイクが身近なものになるなか、画像や動画もうのみにせず慎重に判断することが大切です。ファクトチェック（事実の検証）の方法としては次のようなものがあります。

- **情報源を確認・比較する** 報道機関、公的機関、専門家の発信かをチェックしたり、**複数の情報源を比較**したりしましょう。
 - **不自然な点を探す** 影や光の向き、髪や手のかたちの違和感、口の動きと音声のズレ、まばたきの**不自然さなどに注目**しましょう。スロー再生で確認すると分かりやすいこともあります。
 - **拡散するときは慎重に** 衝撃的な情報ほど拡散されやすいため、感情的にならず、まず真偽を確かめましょう。
- **情報を検証しても真偽が分からない場合は、拡散しない**ということが最も重要な心がけです。

^{*2} 令和4年台風第15号による記録的な大雨

1

スキマ時間に気軽に稼げる!?
副業トラブルに注意

SNSや動画広告、ネット検索等で「いいね」を押すだけといった簡単な作業(タスク)で稼げるという副業を見つけて応募したところ、高額報酬を得るにはまず振り込みをするよう指示されて振り込んだが、その後も様々な理由で振り込みをさせられた挙げ句、高額報酬は得られなかったなどの相談が増加しています。



SNSをきっかけに…

事例1 「1分で稼げる副業」というSNS広告が目に入り、広告をタップした。「送信したSNS広告に“いいね”するだけ。“いいね”を増やしてフォロワー数を多くするのが目的。1案件100円から800円、月3万円から5万円は稼げる」「ユーザー登録するだけで1,500円がもらえ、2,000円以上たまると出金もできる」と書かれていた。自分にもできると思い、メッセージアプリで友だち登録した。

後日、自動でメッセージが消えるアプリをダウンロードするよういわれ、そのアプリに広告が送信されたので“いいね”した。数十分に1回間隔で広告が来るので、そのつど作業をした。出金するには「3,000円を振り込む必要がある」といわれ、指定された個人口座に振り込ん

だところ、報酬分も含めて約4,000円が振り込まれた。

その後、数回にわたって合計20万円を振り込んだ。たまっていた報酬を出金しようとしたらアカウントが凍結された。アカウントの凍結解除のために約40万円振り込むよう言われた。

事例2 SNSで「動画を見るだけで報酬が得られる」という広告を見て、メッセージアプリ経由で副業に応募した。指示どおりにタスクをこなし数百円を受け取った。その後、「高額報酬のタスクがある」と誘われ、指示された1万円を支払った。アプリ内で4人1組のチームとなり、全員が同じデータを入力すると、事前に支払った1万円に報酬を上乗せした1万数千円が振り込まれた。

次に3万円を振り込み、データを入力した後で「あなたのミスでチーム全員が損をした。その処理費用に15万円が必要」といわれ、指定された口座に振り込んだ。さらに「次のタスク完了で戻ってくるから」と言われて約40万円を振り込んだ。タスクは完了したが報酬等を引き出すためにはさらに約70万円が必要と言われ、おかしいと気づいた。生活費をすべて振り込んでしまった。

! トラブルにあわないために

- ▶ 「簡単に稼げる」「もうかる」ことを強調する広告は**詐欺の可能性**があるため、**うのみにしない**ようにしましょう。
- ▶ 悪用される可能性もあるため、相手方が誰か分からない場合には、住所や氏名、銀行口座の情報、運転免許証の写真等の**個人情報を伝えない**ようにしましょう。
- ▶ いったん振り込んでしまうと、被害回復は困難です。お金を稼ぐはずが振り込みを求められても、**言われたとおりに振り込まず、消費生活センター等に相談してください。**

参考



参考 「スキマ時間に気軽に稼げる等とうたう副業トラブル! -簡単なタスクを行う副業でお金を払う??詐欺に騙されないで-」(国民生活センター)